

陳情第 8 号
2016年 8月 16日

国立市議会議長 中川喜美代 様

国立市に特別養護老人ホーム増設を求める陳情

【陳情の趣旨】

国立市には現在、2か所の特養ホームがあり145名(定員)が入所しております。市のホームページ(28年度)でも、300名近くの待機者がいます。この数年マスコミなどでも盛んに取り上げられている、「老老介護」、「孤独死」、「下流老人」など、悲惨な事例が報道されています。こうした状況は他人事ではなく、私達の身近な問題です。

特養ホームは、低所得者の方でも入所できる「最後のとりで」として、無くてはならない施設と考えます。国立市の高齢者人口(65歳以上)比率に対する特養ホーム整備率が、東京26市中、下から4番目となっています。しかし、国立市の介護保険第六期計画(2015~2017年)には増設計画が全くありません。団塊の世代が確実に高齢化していく中、「特養不足」が深刻です。国立市の方針は「在宅介護」に重点を置いていると聞きますが、在宅介護、または施設介護を選択出来るようにすることが重要です。

国、東京都による、施設整備にかかわる、さまざまな補助施策を講じられています。これらの制度を利用して、国立市に特養ホームの増設を緊急に具体化してください。

【陳情事項】

- 一、都営矢川北団地の建て替え跡地、国有地、都有地、民間用地などを活用し、早急に特養ホームの建設(増設)を求めます。